

1 本人の状況

/ / /

要介護度	要 介 護	1	2	3	4	5			
日常生活自立度	Ⅲa以上	Ⅱb	Ⅱa	I	自立				

2 主たる介護者・家族等の状況

世帯の状況	独 居	高 齢 者 世 帯	そ の 他			
介護者の年齢・続柄						
介護者の介護負担	重 い	や や 重 い	軽 い	負 担 な し		
介護者の障害や疾病	無・有(
介護者の就労	無・有(職種等			日/週、	時間/日)	
他の要介護者	無・有(要支援、 要介護			1, 2, 3, 4, 5,)		
介護者の育児、家族の病気	無・有(
介護者の介護の関わり方	介護拒否	非常に消極的	やや消極的	ふつう		
他の同居介護補助者	無・有(続柄			日/週程度		
別居血縁者介護協力	無・有(続柄			日/週程度		
近隣者等の介護協力	ほとんとなし	随時あり	常時あり			

3 調査者の意見

記載者氏名

印

別表1 入所申込者評価基準

1 本人の状況評価(最高点28点)

評価項目	14点	12点	10点	6点
要介護度	5	4	3	2~1

評価項目	14点	10点	6点	0点
日常生活自立度	Ⅲa以上	Ⅱb	Ⅱa	I・自立

※別表2「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」に基づく。

2 主たる介護者・家族等の状況の評価(最高点72点)

評価項目	8点	6点	4点	0点
①主たる介護者の年齢	70歳以上	60歳以上	60歳未満	—
②介護者の介護負担	重い	やや重い	軽い	なし
③介護者の障害や疾病	介護困難	多少介護	介護可能	なし
④介護者の就労	8時間以上 高齢で就労不能	4~8時間	4時間未満	なし
⑤介護者が育児、家族が病気	常時の育児看病	半日育児看病	臨時育児看病	なし
⑥介護者の介護の関わり方	介護拒否	非常に消極的	やや消極的	ふつう
⑦他の同居介護補助者	ほとんどなし	随時あり	常時あり	—
⑧別居血縁者介護協力	ほとんどなし	随時あり	常時あり	—
⑨近隣者等の介護協力	ほとんどなし	随時あり	常時あり	—

※ひとり暮らし高齢者は、上記にかかわらず①から⑦までで56点とする。

高齢者世帯は、⑤について8点とする

3 他の要介護者による評価の調整

他の要介護者がいる場合は、当該要介護者における「1 本人の状況の評価」を加算する。

別表2 認知症高齢者の日常生活自立度判定基準

ランク	判定基準	見られる症状・行動の例
I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にほぼ自立している。	
II	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。	
II a	家庭外で上記IIの状態が見られる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理などそれまでできたことにミスが目立つ等
II b	家庭内でも上記IIの状態が見られる。	服薬管理ができない、電話の対応や訪問者との対応など一人で留守番ができない等
III	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが見られ、介護を必要とする。	
III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便、排尿が上手にできない・時間がかかる。 やたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声、奇声を上げる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等
III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII aに同じ
IV	日常生活に支障を来たすような症状・行動や意思疎通の困難さが頻繁に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIII aに同じ
M	著しい精神症状や問題行動あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等

出典:「「認知症老人高齢者の日常生活自立度判定基準」の活用について」(平成5年10月26日老健第135号厚生省老人保健福祉局長通知)